

ちいき支え合い懇談会まとめ（八街中央中学区）

日時 12月1日（日） 午前10時～正午

場所 市総合保健福祉センター3階 大会議室 参加者 34名

【Aグループ】

支え合いや思いやりをどう育み・実現するのか？

■地域共生社会地域のつながり

『あいさつ』『顔が見える』『助け合い』『声のかけあい』

- ・地域役員のなり手不足
- ・あいさつをしてくれる⇒うれしい
- ・区、自治会（町内会）の加入率の低下
- ・昼間、仕事に出ていると地域の様子がわからない。顔が見えない。
⇒災害が起きたらどうしたらいいか...
- ・けやきの森イベントは町の活性化になっている。

■交通マナー

- ・歩行者優先が守られている。 ・自転車のマナー

■情報

- ・リアルタイムの情報を見つけられない。
- ・市民やまちの活動や催事（市の動向、動きは広報では把握できない）・SNSの活用

■荒れ地

- ・隣接の草木
- ・通学路、防犯灯、雨水処理→安心な道
- ・子どもたちの通学路歩道が狭くて心配
- ・道路側溝のフタのすきまががたつき、雨水の処理
- ・防犯、夜道が怖い（防犯灯がなく暗くて危ない）

■ゴミ問題

- ・まちの中心部なのでゴミはあまりないのですが、通勤途中の人のタバコの吸い殻や食べたゴミが道に落ちている。
- ・他の地域からのゴミ廃棄（投）
- ・ゴミ出しマナー

■自治会に加入するメリットをつくる！？

⇒どのようにオープンにするか？？

■交流・場所・催事

- ・コミュニティセンターの活用
- ・子供が参加しやすい（キッチン活用）
- ・個人的に…ハシゴ酒がしづらい。歩ける範囲にお店が少ない。ランチも同様。
- ・多世代と多様な人がまちにいると思うが知り合う機会が少ない。
- ・習い事の活発化。市内に教室が少ない。
- ・娯楽やみんなの集まる雰囲気がない。催事やスペースなどカフェも少ない。

■子供と親→子供を預けられる関係

- ・子供の遊び場 公園が無い
- ・高齢者の経験をお孫に伝える機会が増えたら良いのでは
- ・子供達～高齢者まで集まれるフリースペースが増えないか



アソビ・マナビ

- ・地域活動者の高齢化
- ・高齢者が免許返納してしまうと買い物に行くのが困ると聞くのだが…

■高齢者を支える アクティブシニア

【B グループ】

- ・公園のごみが多い！（ごみ拾いやポスターなどをつくる）
- ・公園で遊び道具を貸し出す。（めずらしいスポーツであそべるかもしれない）
- ・子どもが少ない。
- ・子ども会活動の消滅（中央中学区は四区のみ？）
- ・世代間の交流があまりできない。
- ・児童との交流を作る人材
- ・高齢者の方、障がい者の方との交流（実際におとずれたら色々分かると思う）
- ・中高生の居場所づくり ➡ 情報を知らない。
- ・話し合う場所が少ない。
- ・福祉に関する理解者・人材確保
- ・外国籍の方とのコミュニケーションのとり方
- ・道路の白線をもう少し広くしてほしい（せまくてちょっとこわい）。
- ・交通網がないところが困ってしまう。
- ・お金がない。
- ・買い物に不便を感じてしまう。

子どもたちとつながりたい
もっといろいろあそびたい
知り合った人たちともっと一緒に活動したい



交流がない！

あいさつをする？しない？
あの人は不審者？

} …今の時代ならではの心配をどうすればよいか

➡もっと知り合う・交流する
そして解決されるのでは・・・

場の提供
発信力
つながる力 } が必要

【C グループ】

- ① 環境
 - ・子供たちが遊ぶ場所がない→整備されていない
 - ・ゴミがいつも散乱している
- ② 外国人の問題
 - ・外国人居住者の問題でゴミ出しのルールを守らない
 - ・外国の方がまとまって住んでいる一軒家などまわりがきたなく散らかっている
- ③ 防犯
 - ・おしゃべり好きなおばあさん 家の中の事をすべて教えてしまう。
 - ・防犯グッズのこととかひとりだとどうしたら良いか
 - ・樹木やかきねのかりこみ 通学路 たとえば、かりばらい機の講習を受けてできないお宅でやるとか、私道とか
- ④ 高齢者
 - ・予約のり合いタクシーが利用できていない とくにシニア世代
 - ・町内会に入らないので情報が把握できない
 - ・コミュニティなど集まりやすい場所を使ってイベントをやろうとしても集まらな

い、反応がない→きはく

- ・一人暮らしの方のお墓事。近くに身内がない。
- ・八街市全体の人口減少
- ・働く場所少ない？
- ・高齢の方の経済的な問題
- ・世帯数は変わらない
- ・ひとり暮らしの方だけでなく近隣のつき合いがないからぶじているのかわからない

⑤ 不登校

- ・不登校児童宅訪問できていない（家族シャットアウト）
- ・ヤングケアラー 声がでてこない

【D グループ】

■身近な困りごと

○交通手段

- ・車がないと生活できない
- ・一人暮らしの方買い物に困っている。買い物に行けないシニアはどうすれば？
- ・ちょいそこ八街の使い勝手を考える
- ・町内会で送迎サービスの仕組みを作る
- ・販売車を増やす

○外国人

- ・外国人と助け合って生きていける地域づくりが乏しい
- ・外国人が住んでいるが交わりがない
- ・外国人を巻き込んだイベントを開催

○相談・近所つきあい・区の加入

- ・困ったことをどこに相談したらいいのかわからない
- ・町内一人暮らしの方が多く心配（高齢者）
- ・コミュニティセンターで相談会
- ・認知症を学ぶ機会を増やす
- ・隣・近所のつきあいがいい
- ・地域の組合や区に新たに参加する人がいない
- ・自治会加入の減少
- ・学校の空き教室を使って地域行事をする
- ・あいさつをいつも以上に気にする

○少子・高齢化

- ・若い人が地域から出ていき高齢化が進んでいる
- ・地域の魅力の発見・発信

○子育て

- ・子育て中のお母さんの居場所がない
- ・子どもたちが少ない
- ・コミュニティセンターでママカフェを定期開催

○交流行事・シニア

- ・地域の交流行事やイベントが減っている
- ・区の行事の参加者不足
- ・お祭りの参加者少なくなり運営がスムーズにいかない
- ・認知症高齢者が近所の方とトラブルになっている
- ・高齢者のかかわりがない

○担い手

- ・消防団員が不足している。分団に入っていない。
- ・やめる人が多くいて区や町内会の役員なり手がいない
- ・婦人会の会員が集まらない
- ・リーダーになれる方が地域に少ない
- ・子どもたちの活躍の場が少ない
- ・地域デビューしたい人のきっかけが少ない
- ・自治会の加入方法を見直す

区に入るとお祭りに参加できる・送迎ボランティア利用・サロンを活用・庭の草取り

- ・若手と町内会が役割分担してタッグを組む
- ・なるべく土日に行事をして担い手を集める

↓つながっていく…

○防犯・防災

- ・空き家が増えて防犯・防災上不安（火事）
- ・災害が起きたときの助け合いが不安
- ・近所で防災訓練等をやったらと思う
- ・ごみのポイ捨て
- ・耕作放棄地が増加している
- ・インフラ整備
- ・道路に石やU字溝が置いてあり、通行しにくい
- ・道路の雑草木の枝が伸びている

夏祭り カラオケ大会 子どもも参加

親も巻き込む

↓

役員

【Eグループ】

■高齢者

- ・高齢者の買物 移動販売等
- ・地域活動に高齢者等で出られなくなると、関わりが薄くなり孤立してしまう。
- ・1人高齢者が増えている。（防犯・防災対策）

■地域

- ・防犯活動の推進 例：青パト（対さく）声かけ
- ・地域での交流機会を多くする 例：ラジオ体操 映画の上映
- ・町内会にはいるメリットをもう少しアピールしないと維持できない。
- ・区民の減少
- ・ポイ捨てが多い
対さく：ゴミひろいの活動 ゴミがおちていることをふつうにしない 公園等にゴミ箱をせっち
- ・日常的に近所の方と話す機会がなくちょっとした困り事などのめる方がいない
- ・地域の交流 例えば町内会 消防員とかが毎年減っている。

■子ども

- ・見守隊も高齢者が多いので、父子の協力もほしいので時間的に都合のつく方にできる時だけ協力してほしい
- ・子どもが外で遊ぶ機会が少なくなり、近所の子が分からない、見守りが難しい。
- ・子ども達が安心して遊べる場所があるといい。
- ・学校の下校時にすぐとなりに車をはしっていてこわい。

- 例：ガードレールをつける（対さく）歩行空間を広くする（歩道）
- ・歩道が狭く歩行者も自転車も危険 歩道の形状？
 - ・道路の整備が不足 インフラ整備が不足



■解決策（子供）

- ・歩道が広くとれるよう植木のはみ出しなどを地域でチェックする
- ・子供達が地域で居られる場所を作る→公民館などを活用し地域の大人が見守れる場所作り
- ・コミュニティセンターの利用
- ・見守り隊の活動を公開 ➡ WEB、ポスター募集
- ・見守り隊の増員・強化・協力を呼びかける

【Fグループ】

■交流 多世代交流 =居場所

- ・ひとり暮らしの高齢者が多い 子供が少ない
- ・お世話になりたいくない（高齢者・引きこもり）
- ・子どもが外で遊ばない（スマホでゲーム）
- ・近隣に高齢者が多くなっている
- ・空店舗が多くなってきているように感じる
- ・交流 みんなで話し合う場が少ない
- ・以前より交流が少なくなっている
- ・町内会への加入者が減っている 役員を受ける人が決まってしまう 消防団員が少なくなっている

■アイデア

- ・小学生の発表会等に高齢者の参加を計画する。小学生が企画する
- ・声掛け 子供の話を聞く場をもつ
- ・子どもが企画したイベント
- ・子どもの訪問隊
- ・ふれあい食堂

■コミュニケーション=見守り



- ・外国をルーツにした人たちとの関わり方
- ・人と付き合うのが苦手
- ・ちょっとした困り事・悩みの相談ができない
- ・公園などの遊び場が少ない
- ・孤食の問題・高齢者・ひとり親・共働き
- ・地域のつながりの希薄化
- ・老若男女が集まる機会が少ない コミュニケーション不足 企画しても人が集まらない 五区は農家が多い

■アイデア

- ・戸別訪問の仕組み
- ・ソーシャルメディアを使った交流会
- ・お手紙作戦

■環境

- ・ゴミが多い 公園や道に多く落ちている
- ・ゴミゼロ運動の定期開催
- ・高齢者移動 買い物が困難

■ アイデア

- ・スーパーの移動販売

■ 情報

- ・地域の課題を知らないことが課題
- ・マチコミ 手紙 友達からの情報

■ アイデア

マチコミをもっと活用する



■ 安全

- ・五区 道路狭い 小中学生の通学に不安を感じる
- ・交通 ガードレールがない ヘルメットかぶっている人少ない 学校終わってから
のバスがない
- ・大雨時 水害発生箇所が毎年同一箇所に発生する

■ 担い手

- ・担い手が少ない
- ・五区 高齢化が進み若年者の地域外へ流出 後継者不足 区役員 消防団等
高齢化に伴い区脱退者 増

■ アイデア

- ・高校でのワークショップの開催

➔ 小学生の声が助けになりました。

【G グループ】

■ 地域交流

- ・商店街元気ない・外食少ない
- ・外国人への理解と対応
- ・外国の方と交流する場がない
- ・子たちの居場所 あそび場所
- ・障害がある方への理解
- ・地いきコミュニティ希薄化
- ・隣人との交流などが減っている
- ・宣伝が多くの方に届いていない
- ・若者の参加があまりない
- ・若者と高齢者の方が一緒に参加できるようなイベントが少ない（小学生などと地区
社協の交流など）
- ・イベントに参加する人数がへってきている
- ・地域全体で活力が低下している
- ・町内会内 話し合う機会不足 課題共有
- ・まちづくり会ギ（集う）
- ・世代交代の仕組み
- ・自治会から抜ける人が多い
- ・婦人部が解散した
- ・子供が地域を離れている
- ・世代交代していかない 若い人がイベントに参加してこない
- ・町内会未加入宅の増加 地いきの担い手 減
- ・町内会リーダー役の受け手不足
- ・役員の方の担い手がいらない

■高齡

- ・町内毎の高齡者 安否マップが必要
- ・独居高齡者の増加 見守り
- ・高齡者宅の町内会離脱
- ・高齡者の買い物支援
- ・高齡者同士のつながり不足
- ・高齡化でイベントの運営がきびしくなっている
- ・高齡者の移動のサポートが少ない 移動手段確保
- ・単身高齡者孤立
- ・登下校 子たちの見守り高齡化
- ・認知症

■安心・安全

- ・廃屋の増加・安全対策・植栽管理
- ・消防団員確保
- ・防犯情報共有不足 不審者情報
- ・防犯カメラの設置
- ・外灯が少ない
- ・銚子街道 ふみ切り 小学生あぶない
- ・県道の歩道 歩行者あぶない
- ・側溝のゴミ 活水対応

■ゴミ

- ・ゴミ集積場の維持・管理
- ・ゴミ出しのルールが守られていない

■まとめ

- ・地域の実態 どこにだれがどの様に
- ・交流機会をつくる
- ・案内状 全戸配布
- ・すでにある地域イベント 行事継続
- ・スーパー等にポスター 多言語対応
- ・SNS活用 X・インスタ等
- ・あいさつ

【Hグループ】

■困りごとなど何でも相談できる場所は？（市役所なのか？ 社協なのか？）

- ・地域での困りごとの相談機能
- ・外国人の方が増えててスーパー等でも多く見かけます。家の近くにも住んでおりゴミの問題、国旗も出している
- ・ゴミ・・・認知症の方がゴミ分別がわからず他人の家に投げ込む
- ・認知症になり独居の方の日常、被害妄想
- ・年金前になると、お金がないと借りに行かれる

■自治会・町内会の課題・・・役員、会員、ごみ（高齡者、加入者）メリットは？

- ・地域行事（お祭り）などの継続
- ・区の行事、地区社協の取り組みの再設定
- ・地区役員の高齡化となり手不足
- ・地域役員の担い手不足
- ・自治会の加入者減少 脱退者→加入のメリットは？
- ・町内会加入されてない方のゴミの捨てる場所

・あいさつの事

知らない人にはあいさつしないのか？

自分は知らなくても親が知っているかも知れないのであいさつ

■地域活性化 公園や広場の活用（見守り、安全確保）



地域とのつながり

・けやきの森公園の活用

・北口広場の活用

・地域の活性化 地元の業者が参加してラーメンまつり 夜市

・子どもが安心して遊べる場所がない

・区のあり方についての不満「祭礼にしか行っていない」とか